

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-109	Year Month Day Time 2010 年 5 月 4 日 15 : 40
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
明成高校	<table border="1"> <tr><td>14 1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>16 2nd</td><td>24</td></tr> <tr><td>11 3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>23 4th</td><td>17</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14 1st	21	16 2nd	24	11 3rd	14	23 4th	17	OT		延岡学園
14 1st	21											
16 2nd	24											
11 3rd	14											
23 4th	17											
OT												
64 ●		76 ○										

主審:Referee 小澤 勤 山梨県
副審:Umpire 久米 克弥 秋田県
テーブルオフィシャルズ:Table officials 男鹿工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		須川 陽介	CAP	-	-	-	-	0	4	/	甲斐 慶彦	CAP	0	0	0	0	0
5		市原 大臣		-	-	-	-	0	5	×	エリマン プイ		16	0	7	2	0
6	×	杉本 健将		0	0	0	0	2	6	/	大和 倫矩		0	0	0	0	1
7	/	鳶木 智		0	0	0	0	1	7	×	黒木 亮		7	0	3	1	1
8		門田 瑠唯		-	-	-	-	0	8	/	脇坂 恭輔		0	0	0	0	0
9	×	岩田 裕介		14	2	2	4	3	9	/	西口 直哉		0	0	0	0	0
10	×	安藤 誓哉		19	4	3	1	2	10	/	山田 省吾		0	0	0	0	0
11	/	中村 優斗		0	0	0	0	0	11	×	岩田 大輝		1	0	0	1	4
12	/	森 知史		0	0	0	0	0	12	×	寺原 拓史		17	1	6	2	2
13	/	伊藤 尚人		0	0	0	0	1	13	/	岡本 飛竜		3	0	1	1	0
14	×	木村 聡		14	0	6	2	5	14	×	ベンドラメ 礼生		10	0	4	2	2
15	×	松澤 大晃		12	0	6	0	5	15	/	エルハジ・アッサン ジョ		12	0	5	2	2
16	/	藤井 祐希		5	0	2	1	0	16	/	田中 駿也		5	1	1	0	0
17		和田 一斗		-	-	-	-	0	17	/	善家 耕太郎		2	0	1	0	1
18		川東 聖司		-	-	-	-	0	18	/	平岡 大志		3	0	0	3	2
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		北郷 純一郎						
Aコーチ		藤岡 祐汰							Aコーチ		丸岡 英文						
合 計				64	6	19	8	19	合 計				76	2	28	14	15

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、試合開始から一進一退の攻防が続く。明成は#15松澤がジャンプシュート、ゴール下で加点する。延岡も#5エリマンがゴール下で得点を重ねる。5分過ぎから延岡はガード陣がドライブで果敢に攻め始める。明成はチームファウルが5つとなり、ここで得たフリースローを延岡#12寺原、#14ベンドラメが確実に決め、リードする。明成は#9岩田の3Pなどで反撃を見せるが、終了間際、延岡#12寺原がジャンプシュートを沈め、14-24で1Q終了。

2Q、延岡は#15エルハジの速攻からの豪快なダンクや、#14ベンドラメのドライブ、#12寺原のドライブや3Pなどバランスよく攻め、リードを広げる。対する明成は高さのある延岡のディフェンスをなかなか崩せない。明成#10安藤のジャンプシュートや#14木村のゴール下、#15松澤のドライブなどで攻め続けるが点差を詰め切れず、30-45と延岡15点リードで前半を終了する。

3Q、開始早々明成は#9岩田がジャンプシュート、#15松澤がゴール下で得点し、流れを引き寄せたかに見えたが、延岡はすかさず#15エルハジがゴール下で連続得点し、主導権を渡さない。その後、明成は#14木村のゴール下、延岡は#15エルハジのジャンプシュートなどでそれぞれ得点を重ね、41-59と延岡が点差を18点に広げ、3Q終了。

4Q、明成は#10安藤が連続して3Pを決め、点差を縮めると、ディフェンスをオールコートに切り替え、一気に流れを引き寄せる。#14木村のゴール下、#9岩田の3Pで、最大18点あった点差が6点にまで縮まる。しかし、延岡#5エリマンが攻守にわたってゴール下で踏ん張り、64-76で延岡が逃げ切った。